地域の多様なステークホルダーによる 社会課題解決のプラットフォーム

地域と



共に生きる社会を目指して

~実践事例から学ぶ~

基調講演『VR・メタバースが切り拓く若者支援の可能性』

パネルディスカッション『共に生きる教育』をどう創るか

2024年11月2日(土)14:00~17:00 終了後30分交流会(13:30 開場)

キャンパスプラザ京都 4階第4講義室 京都府京都市下京区東塩小路町 939 (塩小路西洞院下る)

参加費

無料

地域ともいきラボ/ NPO 法人きょうと NPO センター

きょうと地域創生府民会議協賛事業

多様なセクターの視点から社会課題を見ることに関心がある人、 地域ともいきラボの活動への参加に関心がある人

以下の URL または、二次元コードよりお申込みください。

https://forms.gle/LZQPCKR3NXHcpHa36

お申込みはコチラ





第1部

はじめのあいさつ 荻原 靖 地域ともいきラボ運営委員長 / NPO 法人きょうと NPO センター 副理事長

|基調講演『VR・メタバースが切り拓く若者支援の可能性』

水瀬 ゆず 氏 一般社団法人プレプラ 代表理事



メタバースに 7,000 時間以上ハマり、メタバースで社会課題を解決することを模索し、起業。世 界初の VR メタバース不登校支援プログラム「ぶいきゃん」など立ち上げる。立命館大学でも研 究者として活躍する他、業界団体のアドバイザーや委員、万博の委員や自治体のメタバース活用 をプロデュースしている。各種メディアでメタバースに関する情報発信を行うなど、メタバース 教育のフロントランナーとしても活動。

第2部

15:10 パネルディスカッション『共に生きる教育』をどう創るか

田中 成美 氏 ASTANE 代表

パネラ



京都府立大学卒。大阪公立大学大学院都市経営研究科修了。新卒で大阪の食品製造機械メーカー に入社し、デジタルマーケティング部の立ち上げを行う。WEB や SNS を活用した営業活動の仕 組みを構築し、4年で業績を大幅に伸ばすことに成功。会社員をしながら複業の経験を経て、 2023 年に ASTANE を創業。現在はデジタル活用にお困りの中小企業への伴走支援や複業人材 の育成、地域での講演活動に取り組んでいる。

野田 さよ 氏 認定 NPO 法人アクセスー共生社会をめざす地球市民の会 理事長



学生時代に参加したフィリピン・スタディツアーで貧困の現状に衝撃を受け、ボランティア・イ ンターンを経てアクセスの理事長に。フィリピンでの子ども教育支援事業、女性の就労支援事業 (フェアトレード)を続ける傍ら、スタディツアーで 1000 人以上の日本の若者をフィリピンに 案内してきた。世界の貧困問題を自分事としてとらえ、自ら解決のためにアクションできる若者 を増やすことがライフワーク。

山海 秀洋 氏 株式会社 山海木工 代表取締役 / 京都中小企業家同友会 社員共育・求人委員会 委員長



1985 年に父の経営する山海木工所に入社、2015 年株式会社山海木工設立と同時に代表就任。 2020 年より新卒採用に取り組み、人を生かすこと、そして相互に尊重し合う関係について改め て認識し、社内で実践している。現在、京都中小企業家同友会の社員共育・求人委員会にて委員 長を務め、新卒採用及び毎年採用の意義や、社員とは共に育ちあう関係を重視し、それぞれの会 社で働きたいと思ってもらえる会社づくり、地域にとって必要とされる会社づくりに取り組んで いる。

2 コメンテーター

水瀬 ゆず 氏 一般社団法人プレプラ 代表理事

⑤ コーディネーター

杉岡 秀紀 氏 福知山公立大学地域経営学部准教授



同志社大学大学院総合政策科学研究科修了。内閣官房行政改革推進本部事務局、京都府立大学講 師(専任)等を経て2016年より現職。

専門は地方自治、NPO 論。総務省主権者教育アドバイザー、きょうと NPO センターフェロー。 著書に『地域カ再生とプロボノ』(公人の友社、2015、編著)、『NPO最善戦』(京都新聞出版センター、 2018、分担執筆)、『自治・分権と地域行政』(芦書房、2021、分担執筆)など

┃ 地域ともいきラボの概要と会員募集について

16:50

おわりのあいさつ 大槻 裕樹 地域ともいきラボ副運営委員長

交流会



お 問 合 世